

レンズ交換式デジタルカメラ

リファレンスガイド

Eマウント

α

ILCE-QX1

©2014 Sony Corporation

Printed in Thailand



日本語

PlayMemories Home

画像管理ソフトウェアPlayMemories Home™は以下のURLからダウンロードしてください。

http://www.sony.net/pm/

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

△警告 安全のために

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら

- ① 電源を切る
- ② 電池をはずす
- ③ 相談窓口に連絡する

裏面に相談窓口の連絡先があります。

△危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

本書や製品では、次のような表示をしています。

△危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

△警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

△注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号

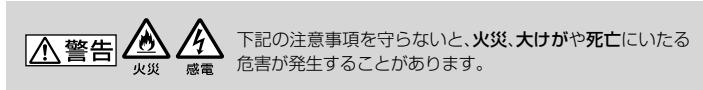


行為を指示する記号



電池について

安全のために文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。



分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

分解禁止

禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプター、バッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。

禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

禁止

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬよう注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁止

電池やストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ストラップに傷がないか使用前に確認してください。

指示

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

禁止

フラッシュを至近距離で人に向けない

- ・至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- ・運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

禁止

取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ない

・視力障害や失明の原因となります。

禁止

長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくとも皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいる、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

禁止

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- ・気温の高い環境でご使用になる場合。
- ・血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

ワイヤレス機能で使用上の注意

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

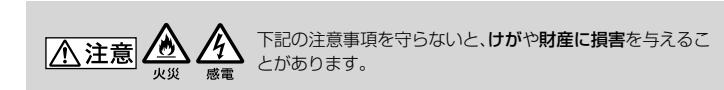
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

指示



△注意

火災 感電

下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

禁止

水滴のかかる場所など温気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、AV接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがありますため、充分注意して接続・配置してください。

指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

指示

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。

禁止

フラッシュ発光部を正常な位置に上げない状態で使用しない

指定外のアクセサリーを装着した場合や、撮影時のスタイル等で、フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、火災の原因となることがあります。

禁止

レンズに衝撃を与えない

レンズはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れ、けがの原因となることがあります。

禁止

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出しがあります。

指示

△危険 電池についての安全上の注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

△危険

- ・乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- ・電池を分解しない、火の中に入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- ・電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- ・電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- ・電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

△警告

- ・電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- ・バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- ・アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- ・外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部またはすべてをはがしてある電池や破れたある電池は絶対に使用しない。

△注意

- ・電池は、+、-を確かめ、正しく入れる。
- ・電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出してください。

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。



Li-ion

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBCRホームページ <http://www.jbcr.net/hp/contents/index.html> を参照して下さい。

お願い

主な仕様

本体

外形寸法(幅×高さ×奥行、CIPA準拠)
74.0mm x 69.5mm x 52.5mm
質量(CIPA準拠)
約216g (バッテリー NP-FW50、メモリースティックマイクロ™を含む)
約158g (本体のみ)
電源: リチャージャブルバッテリーパックNP-FW50、7.2V
消費電力(撮影時): 約2.2W

バッテリーの使用時間と撮影枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	-	約440枚
実動画撮影	約95分	-
連続動画撮影	約150分	-

・数値はCIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
(CIPA:カメラ映像機器工業会、Camera&Imaging Product Association)

・使用環境および使用するスマートフォンによって異なる場合があります。

レンズ

商品名(型名)	E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSS (SEL1650)
35mm換算焦点距離*1	24-75mm
レンズ群一枚	8-9
画角*1	83° -32°
最短撮影距離*2	0.25-0.3m
最大撮影倍率	0.215倍
最小絞り	F22-F36
フィルター径	40.5mm
外形寸法(最大径×長さ)	約64.7 x 29.9mm
質量	約116g
手ブレ補正機能	あり

*1 ここで35mm換算焦点距離と画角は、APS-Cサイズ相当の撮像素子を搭載したレンズ交換式デジタルカメラでの値を表します。

*2 最短撮影距離とは、撮像素子面から被写体までの最短距離を表します。

・レンズの機構によっては、撮影距離の変化に伴って焦点距離が変化する場合があります。記載の焦点距離は撮影距離が無限遠での定義です。

(Model No. WW024382)

商標について

・**α**、Memory Stick、メモリースティック、、Memory Stick Micro、メモリースティックマイクロ、**MEMORY STICK MICRO**、PlayMemories Homeはソニー株式会社の登録商標または商標です。
・microSDXC ロゴはSD-3C, LLCの商標です。
・Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
・Wi-Fi、Wi-Fi ロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
・NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
・その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。



使用上のご注意

使用上のご注意

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- スマートフォンアタッチメントにスマートフォンを取り付けるときは、指を挟まないようご注意ください。
- カメラをスマートフォンへ装着後、スマートフォンだけを持たないでください。特に重量のあるレンズ装着時にはアタッチメントからスマートフォンがはずれるおそれがあります。
- カメラ本体またはレンズを支えるようにしてください。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーの温度が高くなります。故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティーについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLANではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティー対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

無線に関する機能(Wi-Fi)を一時的に無効にする

無線に関する機能は、Wi-FiボタンでWi-Fi設定を[切]にすることで、一時的に無効にできます。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行なうと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
- その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本書をご覧ください。

2.4DS / OF2 この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM変調方式を採用し、干渉距離は20m以下です。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このカメラは国内仕様です。国外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずはチェックを

クイックスタートガイドの「Q&A」項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

『α』専用サポートサイト

製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカード、アクセサリー互換情報に加えて、撮影方法など写真をもっと楽しみたいときに役立つ情報を掲載しています。

<http://www.sony.jp/support/ichigan/>



ソフトウェアのサポート情報

PlayMemoriesシリーズなどのソフトウェア・アプリケーションに関する情報を掲載しています。

<http://www.sony.jp/support/r/disoft/>

『α』オフィシャルサイト

レンズ交換式デジタルカメラの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。(English manual download service is available.)

<http://www.sony.jp/ichigan-e/>

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは <http://www.sony.jp/support/> ホームページをご活用ください。

使い方相談窓口

フリーダイヤル 0120-333-020

携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル 0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「402」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>